報道関係各位

2026 年 10 月 30 日
成　城　大　学

成城大学文芸学部　芸術学科ワークショップ〈音楽学〉レクチャー・コンサート

「楽器とその音楽の歴史をたずねて ―リコーダーとフルート―」

【日時】2026 年 11 月 25 日（水）18：00～　【会場】成城大学　７号館４階　００７教室

成城大学（東京都世田谷区　学長:杉本　義行）は、成城大学文芸学部　芸術学科ワークショップ〈音楽学〉レクチャー・コンサート「楽器とその音楽の歴史をたずねて―リコーダーとフルート―」、2026 年 11 月 25（水）成城大学 7 号館 4 階　００７教室にて開催いたします。

今日では教育楽器としてのイメージが強いリコーダーですが、18 世紀までは様々な音楽で用いられた花形の木管楽器の 1 つでした。一方、17 世紀からはフルートの人気も高まりますが、当時のフルートの多くは文字通り「木管」楽器でした。このワークショップでは、これら 2 つの楽器の演奏家をお招きし、その構造や奏法を解説しつつ 18 世紀までの楽曲を演奏することで、楽器の歴史と魅力に迫ります。実演では、通奏低音の担当としてチェンバロにも加わっていただきます。

◇概　　要◇

【 日 時 】　2026 年 11 月 25 日（水）18：00～
【 会 場 】　成城大学 7 号館 4 階　００７教室
【 登壇者 】　リコーダー：大塚　照道　氏
フルート　：国枝　俊太郎　氏
チェンバロ：石川　友香理　氏
【お申込み】　下記フォームよりお申込みください。
https://forms.gle/ih4GvsMsXnkALknC7
※締切：2026 年 11 月 23 日（月）まで

お申し込みはこちらから

【参加費】　無　料
※先着順（定員に達し次第、申込を締め切らせていただきます。
※本ワークショップは「芸術学・美術史実習　b　」の一環として実施されます。
※未就学児の入場はご遠慮ください。
※楽器のコンディションのための温度調整により、会場内が寒く感じられる場合があります。
カーディガン等調整しやすい衣類のご持参をおすすめいたします。

【企画・進行】　赤塚　健太郎（文芸学部芸術学科教授）
【お問合せ】　成城大学文芸学部　bungei55@seijo.jp

SEIJO UNIVERSITY

◇登壇者紹介◇

リコーダー：大塚　照道　氏

上野学園大学リコーダー専門を卒業。リコーダーを比田井裕、太田光子、山岡重治の各氏に、歴史的奏法と通奏低音を櫻井茂、故金子浩、戸崎廣乃の各氏に師事。在学中は特待生として学費の免除を受ける。K. ブッケ、W. van. ハウヴェ、L. ホルシュらのマスタークラスを受講。「東京・春・音楽祭」「東京リコーダー音楽祭 2020」「たかまつ国際古楽祭」等に出演。リコーダーアンサンブル《ラ・ルベルティーナ》メンバー。《コントラポント》《アントネッロ》《アンサンブル室町》《La Musica Collana》等の演奏会に参加。アルル音楽教室、東京リコーダー協会ほか各講師

フルート　：国枝　俊太郎　氏

リコーダーを安井敬、フラウト・トラヴェルソを故中村忠の各氏に師事。これまで東京リコーダー・オーケストラ、ルネサンスフルート・コンソート「ソフィオ・アルモニコ」のメンバーとして数々のコンサートに出演。2018 年開催の「東京・春・音楽祭」において、ロシアの世界的ピアニスト、コンスタンチン・リフシッツと共演する。現在はバロック室内楽を中心に、古楽器オーケストラによる数々の演奏会に出演するなど、幅広く活動している。バロックアンサンブル「クラングレーデ」「ムジカ・レセルヴァータ」メンバー。参加録音に、「ティールマン・スザート・ダンスリー（全曲）」(キングレコード)、「プロイセンの宮廷音楽～サンスーシ宮殿フリードリヒ大王の居室にて～」（コジマ録音）など、多数。

チェンバロ：石川　友香理　氏

東京藝術大学チェンバロ専攻を卒業。その後文化庁新進芸術家海外研修員として渡仏し、リヨン国立音楽院にて国家演奏家ディプロマを取得。同音楽院の通奏低音・歌唱伴奏科を経て、日本へ帰国。現在はチェンバロ、オルガン奏者として活動している。フランスのバロック音楽に魅了され、更なる魅力発信に努めるべくフランス古楽グループ《On verra》を結成。他《La Musica Collana》メンバー。音楽教室「アイゼナハ音楽院」チェンバロ科講師。